小郡市立立石中学校　　令和４年１１月２８日
立石中学校だより
たっちゅう　第３６号
校長　山村　栄揮

学校教育目標　～ 夢を持ち　未来に向かう、心豊かで　たくましい生徒の育成 ～

人権・部落問題学習授業公開

【公開授業】

【学級分会】

１１月１７日（土）の土曜授業で、人権・部落問題学習を公開をしました。小郡市では、人権・同和教育の取組みを大切にし、市内のすべての小中学校で人権・部落問題学習に取り組んでいます。これは、毎年お願いしている教育条件整備の署名活動にもつながるものです。１年生では、「身の周りの差別」－見方・考え方・気づき－。２年生では、「部落史から学ぶ」－より良い学級とは、つながりとは－。３年生は「解放運動と自分とのかかわり」－公正な社会の実現に向けて－という題材で、それぞれ授業を行いました。その後、学年ごとに分会も実施しました。現在も私たちの身の周りには、様々な差別事象が存在しています。これからの社会を担うことになる子どもたちには、誰もが安心して暮らすことができる社会の実現に向けて、正しい人権感覚を身につけてほしいと願っています。お忙しい中、ご参観いただきました保護者・地域の皆様、ありがとうございました。

読書月間の取組

【ビブリオバトル】

【しおりの作品】

１１月は読書月間で、図書委員会と読書活動サポーターを中心に「しおり作り」「先生おすすめの本インタビュー」「ビブリオバトル」「読書会」など様々な取組がなされました。どれも素晴らしい取組で感心しました。

修学旅行・進路説明会

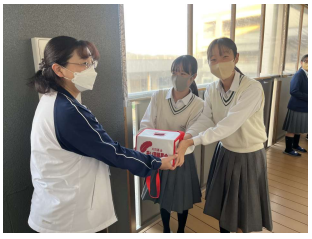
【修学旅行説明会】

【進路説明会】

１１月９日（水）、２年生は修学旅行説明会、３年生は進路説明会を実施しました。修学旅行では、２日目に予定していた班別散策を新型コロナウィルス感染症対策のため、昨年と同様に貸し切りバスでの周遊に変更しました。なお、それに伴う交通費の追加分については、小郡市から支給される新型コロナ対策の補助金から補填します。

前回の進路説明会では、入試制度の大枠の話が主でしたが、今回はより具体的な話になりました。ここ数年、公立高校をはじめ多くの学校で入試の制度がめまぐるしく変わり、これまでの知識では対応できないような状況も出てきています。しっかり各ご家庭で情報収集・検討をされて、１２月の三者面談に臨んでください。高校入試で自分の人生が決まるというわけではありませんが、将来を見据えた大切な選択になるのは間違いありません。高校に入ることだけでなく、その先を見通して進路選択をしていただければ…と思います。

赤い羽根共同募金



小郡市社会福祉協議会は、福岡県共同募金会小郡市支会として共同募金や災害援助のための義援金募金などを推進しています。コロナ禍の影響により、募金活動を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、立石中学校生徒会はこの事業に賛同し、集めた６５２４円を寄付しました。

ご協力いただいた生徒の皆さん、ありがとうございました。

小中合同挨拶運動

１１月２１日（月） に、右の写真のように、中学校の生徒会と小学校の運営委員会合同で、挨拶運動を行いました。当日は、市長さんも挨拶に来てくださいました。小中合同で子ども達を迎えたり、横断歩道を渡したり、小学生と一緒に反省会をしたりもしました。「あ、〇〇さん、久しぶり。」といった声も聞かれて、良い雰囲気の朝を過ごすことができました。小学生と交流できるのと同時に、新たな気づきや発見にも繋がるとても良い取組です。

新しい生徒会が動き始めようとしています。

１１月３０日（水）に生徒会立会演説会・選挙が行われます。今回は７名の皆さんが立候補しています。選挙の結果が出ましたら、後日ご報告します。

１年平和学習

かつて大刀洗の地区には、旧陸軍が東洋一を誇る大刀洗飛行場を中心とする陸軍の大きな町がありました。ここは日本陸軍の重要な要となり、全国から人が押し寄せていました。1万人ほどの数だったらしいです。陸軍の人たちやその家族向けに大刀洗地区には多くの店が立ち並び、町は発展していました。しかしながら昭和20年（1945年）3月、アメリカ軍より空襲を受け、壊滅的な打撃をうけます。この空襲により、民間人も含め多くの尊い命が失われました。ちなみにその時の飛行場が広島に原子爆弾を落としたB29です。また、この飛行場は特攻隊の中継基地として、数多くの若き特攻隊員たちの出撃を見送った土地でもあります。このような、史実に学び平和の尊さについて考えるべく、１年生の総合的な学習の時間にゲストティーチャーをお招きして平和学習を実施しました。１２月１４日（水）には、郊外へフィールドワークにも出かけます。